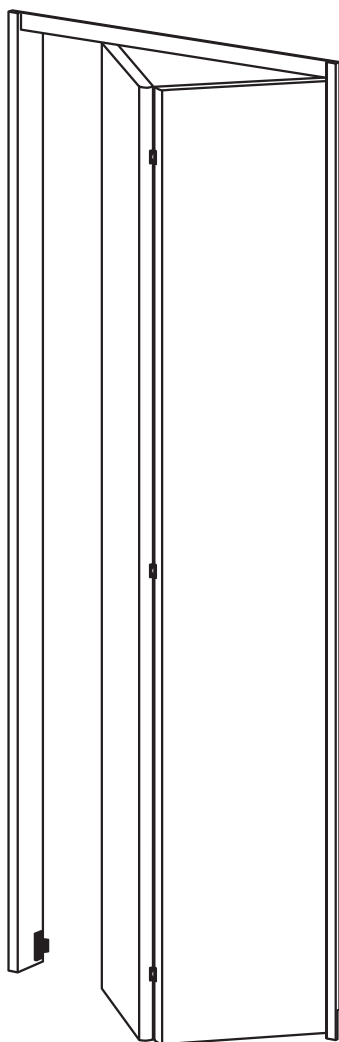


建具

CFP クローゼット折れ戸

組立設置説明書 04-CFP05S-02

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。



●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害、物損)に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。

屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、ダンボール等で養生してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。

やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。



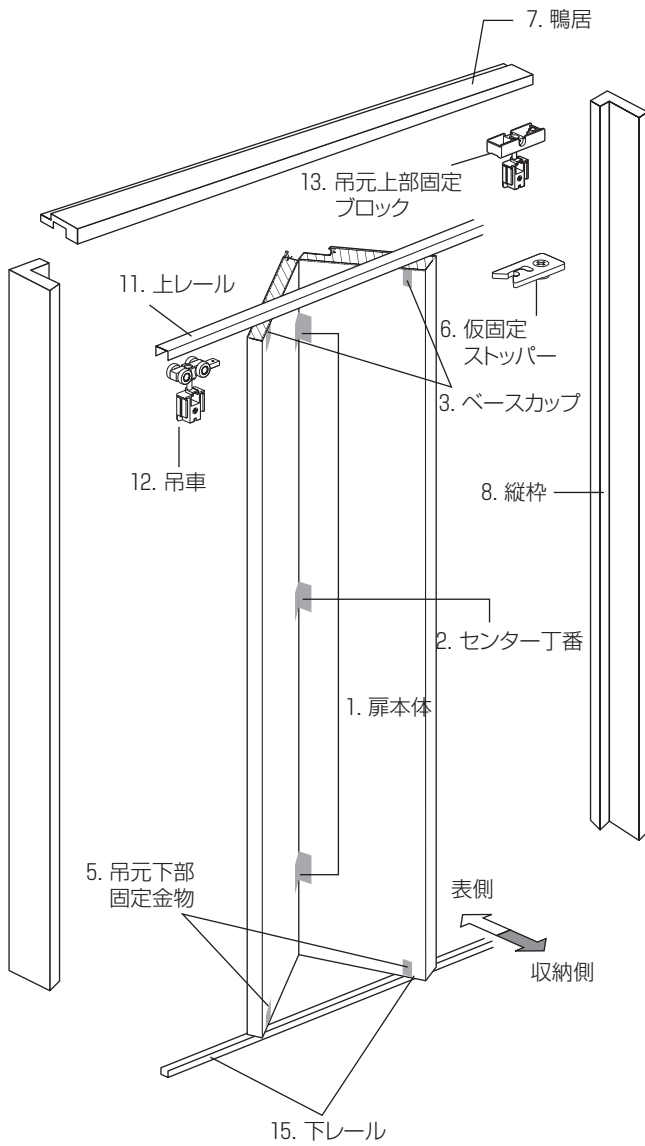
扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



枠の組立には、同梱のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。

1 全体図

《固定枠》



※下レールはW2450・2713・3256タイプのみとなり、W735・W820・W1190・W1320・W1645・W1820は下レールはありません。

《扉》

番号	名称	数量								
		W735	W820	W1190	W1320	W1645	W1820	W2450	W2713	W3256
1	扉本体	1	1	2	2	2	2	3	3	4
2	センター丁番 (取付済)	3	3	6	6	6	6	9	9	12
3	ベースカップ (取付済)	4	4	8	8	8	8	12	12	16
4	振れ止め	-	-	1	1	1	1	-	-	-
5	吊元下部 固定金物	1	1	2	2	2	2	-	-	-
6	仮固定ストッパー	-						4	4	4

《枠》

番号	名称	扉固定タイプ					扉フリータイプ			
		W735	W820	W1190	W1320	W1645	W1820	W2450	W2713	W3256
7	鴨居	1								
8	縦枠	2								
9	枠組立てビス φ4.0×50 (アトムスーパードロー)	4								
10	施工用ビスセット									
	ビス穴隠しシー ル縦枠・鴨居用	8								
	枠取付ビス 縦枠用 φ4.0×50 (アトムスーパードロー)	8								
11	吊戸レール(同梱)	1								
	取付ビス φ3.5×32 (アトムスーパードロー)	3	4	5	5	6	7	9	10	12
12	吊車	1	1	2	2	2	2	6	6	8
13	吊元上部 固定ブロック	1	1	2	2	2	2	-	-	-
14	下部ガイド	-	-	-	-	-	-	6	6	8
15	下レール(同梱)	-						1	1	1
	取付ビス φ3.5×16	-						9	10	12

※上記数量は必要数量です。ビスは上記数量より多い場合があります。

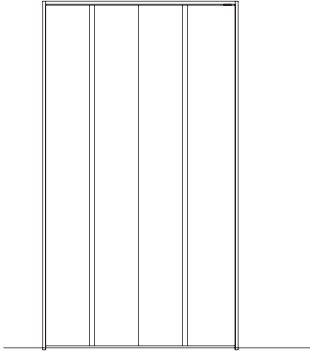
《その他》

番号	名称	数量
16	組立設置説明書・取扱説明書	各1

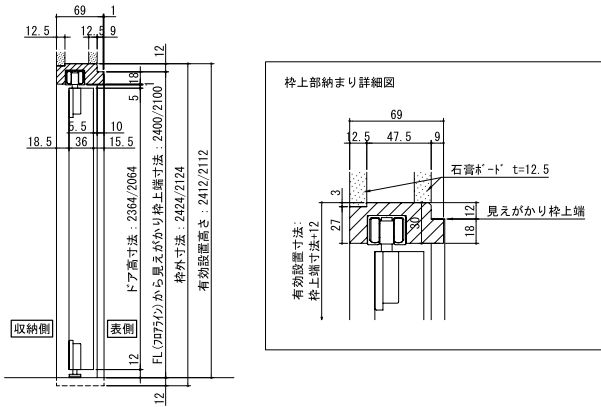
※必ずお施主様にお渡しください。

2 寸法図

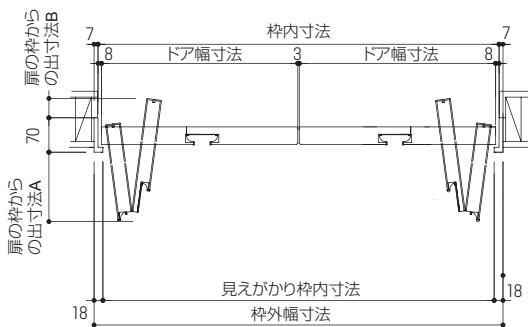
《正面図》



《縦断面図》



《横断面図》



	1枚		2枚				3枚		4枚
	W	W	W	W	W	W	W	W	W
ドア幅寸法	705	790	579	644	805	893	805	893	805
桝内幅寸法	721	806	1176	1306	1631	1806	2436	2699	3242
桝外幅寸法	735	820	1190	1320	1645	1820	2450	2713	3256
見えがかり桝内寸法	699	784	1154	1284	1609	1784	2414	2677	3220
扉の枠からの出寸法A	248	291	185	218	298	342	298	342	298
扉の枠からの出寸法B	85	85	85	85	85	85	85	85	85

3 準備

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 扉は上吊り式です。まぐさは必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。梁が弱いと上枠が垂れ下がり、扉がスムーズに開閉できません。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。

	3尺間口以上	4.5尺間口以上
梁の断面寸法	105×105mm以上	105×180mm以上

- 下枠・沓摺が必要な場合は現場手配ください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。垂直、水平がでない場合、下記の原因となります。

図のようなことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。

4 施工の前に

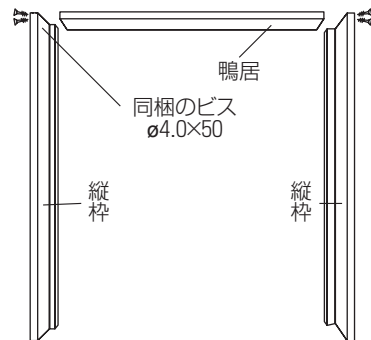
桝を床下に埋めこまない場合は桝下端をカットしてください。

桝を床下に埋めこむ場合は桝下端を床厚さに合わせてカットしてください。

詳細は寸法図を確認してください。

三方桝を組み立ててください。

※同梱のビスをご使用ください。

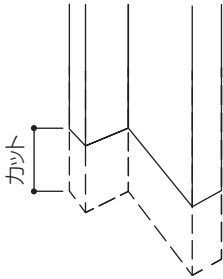
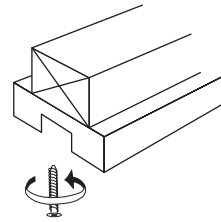
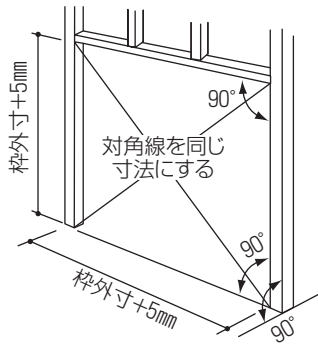


固定桝・薄壁桝の場合は、必要に応じて桝の裏側に壁ボードの溝加工を行なってください。

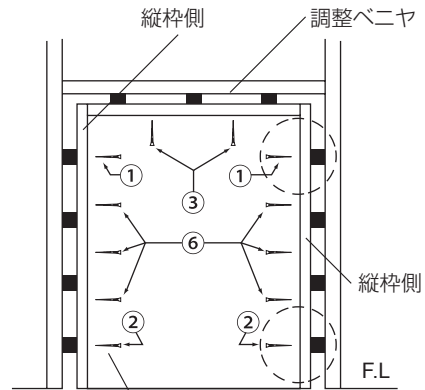
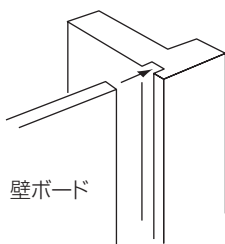
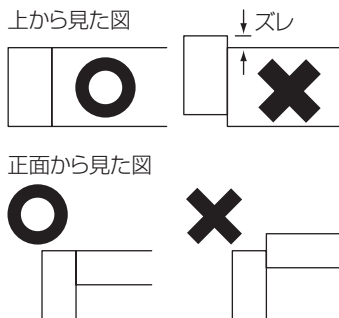
5 施工手順

《開口部への枠の取付け》

- ① 枠を開口部にはめこんで縦枠側の上部を枠取付ビスで仮固定してください。
- ② 下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠の下部を枠取付ビス（ $\phi 3.5 \times 50$ ）で仮固定してください。
- ③ 水準器で上枠の水平を見ながら鴨居を枠調整ビスで仮固定してください。
- ④ 鴨居の上下調整は次の様に行ってください。
A. まず枠調整ビスで鴨居を固定します。

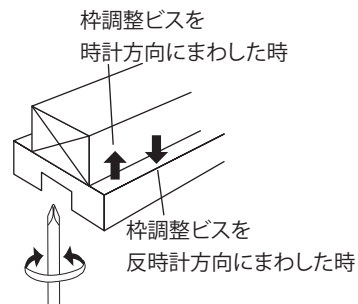


※縦枠、控壁と鴨居にズレがないことを確認してください。



鴨居 枠調整ビス $\phi 5.2 \times 55$ (枠寸法により)
縦枠 枠組立ビス $\phi 4.0 \times 50$ (8本)

- B. 枠調整ビスを回すことで、梁と鴨居の間の隙間を調整することが出来ます。

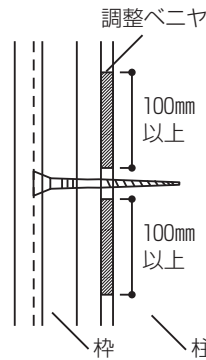


C. 鴨居と梁の隙間を調整したあと、隙間に木工ボンドを塗った調整ベニヤ（現場調達）を入れ、ビスで締め付けて下さい。



● 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。
電動ドライバーを使用すると、ビス頭がつぶれ調整ができなくなります。

⑤ 鴨居調整後、枠取付ビスの上下に木工ボンド（現場手配）を塗った調整ベニヤ（幅＝柱幅程度 × 高さ＝100mm以上）を入れてください。



手順①②③④部分の調整ベニヤは左図のようにビスの上下に入れてください。



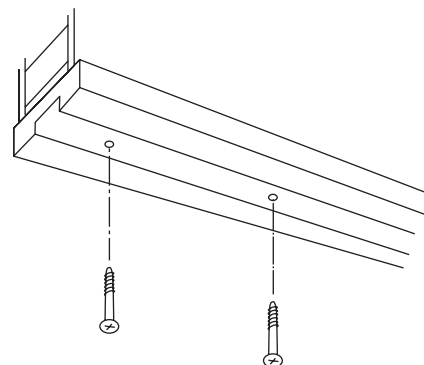
調整ベニヤを入れないと、枠がぐらつき、丁番が破損したり、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。



枠の水平・垂直を必ず確認してから取り付けてください。
扉が閉まらない原因となります。



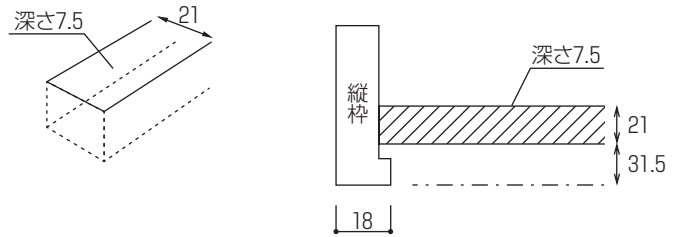
鴨居は同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。



6 床の溝加工

W2450・2713・3256の場合

※掘込溝の位置は縦枠の仕上り寸法から追い出して加工位置を決定してください。

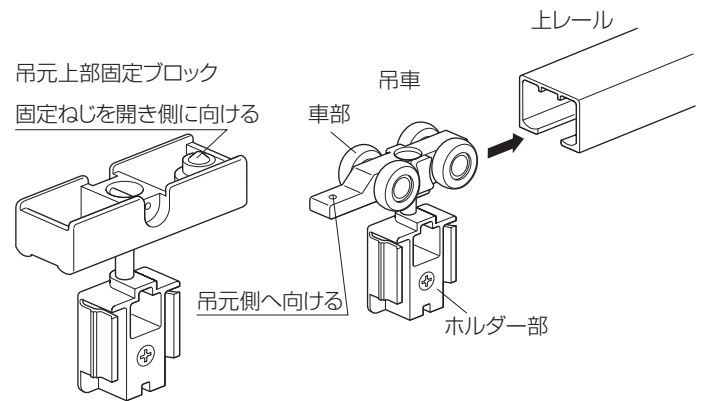


7 レールの取付け

《取付け方法》

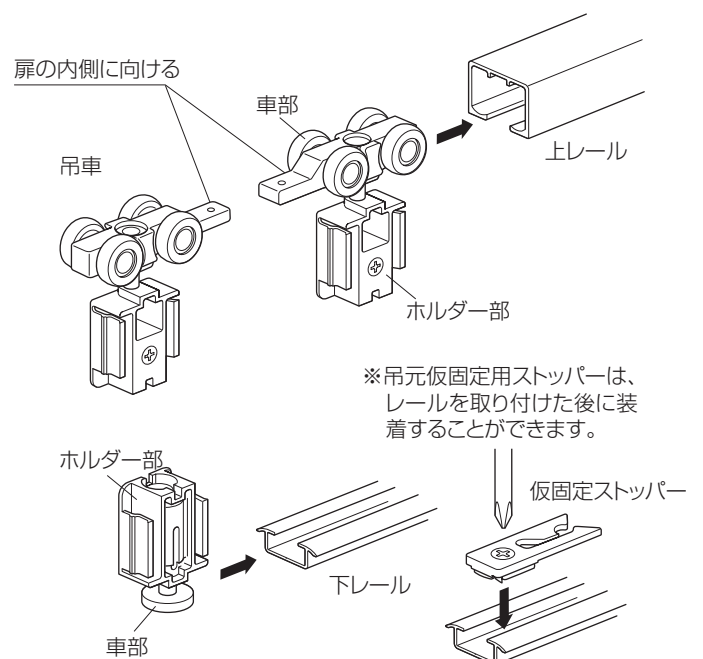
W735・820・1190・1320・1645・1820の場合

- ①上レールを取り付ける前に、図に示す方向で、吊車をレール内に挿入します。
- ②それから上枠にレールを取り付けてください。



W2450・2713・3256の場合

- ①レールを取り付ける前に、図に示す方向で、戸車及び下部ガイドの車部をレール内に挿入します。
- ②それから上枠にレールを取り付けてください。
- ③吊元仮固定用ストッパーを使用する場合は、最後に、上下レールに装着してください。

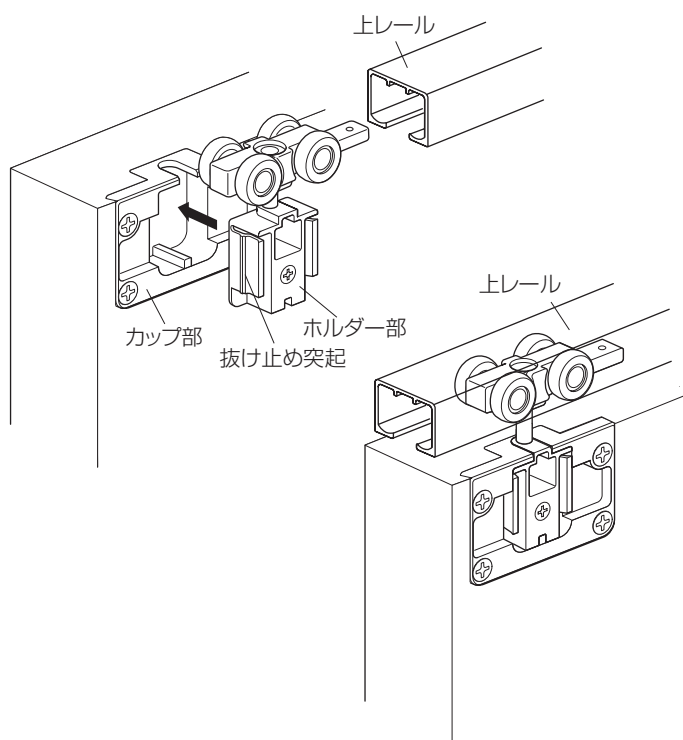


8 戸の吊込み

(戸に取り付けた吊車及び下部ガイドの) カップ部分に、(レールに挿入してある)ホルダー部を差し込みます。

※木枠 W735・820・1190・1320・1645・1820の場合は
上レールのみ

ホルダー部の抜け止め突起がカップ内側の切り欠き部にしっかり嵌った時、パチンという音がしますので、必ずご確認ください。

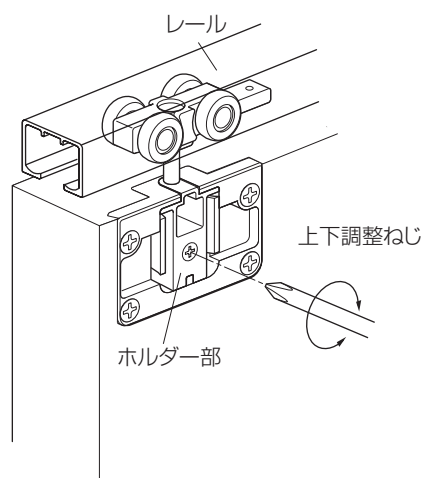


9 戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合

➔吊車で、上下調整してください

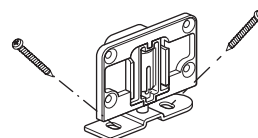
- ①調整は戸を吊ったままの状態です。
- ②ホルダー部の上下調整ねじを回せば戸の上下調整ができます。



10 吊元下部の固定

《固定方法》

W735・820・1190・1320・1645・1820のみ
戸の高さ調整後吊元下部固定金物を付属ビスで床に固定してください。

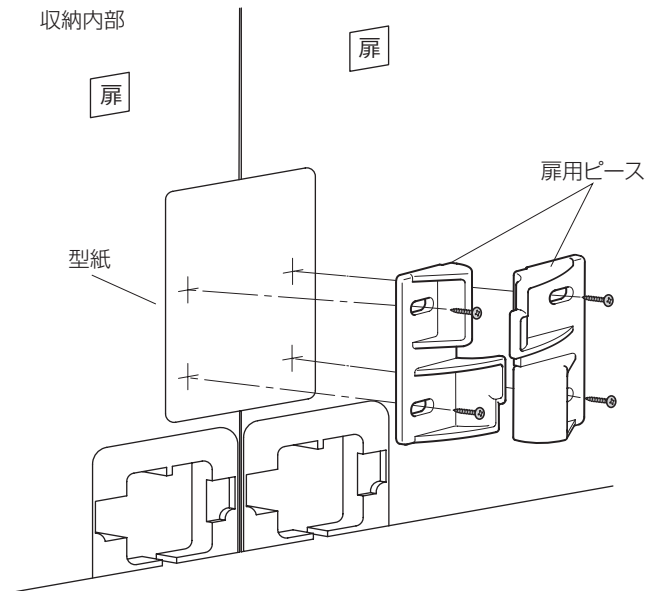


11 振れ止めの取付け

《取付け方法》

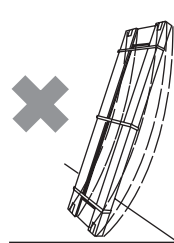
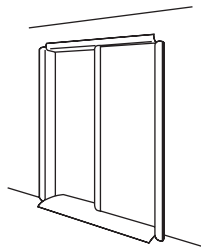
W1190・1320・1645・1820のみ

- ①扉全体を調整します。
- ②型紙を使って下穴をあけます。
- ③それぞれのピースを図に示す向きに添付ねじ (+トラストタッピンねじ $\phi 3.5 \times 25$) で取り付けます。



12 養生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを枠・建具に直貼り使用すると、表面シートが剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。金具は布・ミラーマットなどで養生してください。



- ※扉は壁に立てかけて保管しないでください。反りの原因になります。
- ※扉は梱包材に再度入れ、平積み保管してください。

●●● sanwacompany

株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.

●お客様相談センター 受付時間：土・日・祝日、夏季休業、年末年始を除く 9:00～17:30
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096